



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2025年4月13日(日) 9:30~12:00(雨)

参加者 一般:0名

指導員:1名

## テーマ 春の妖精を探そう

この時期には、しとしとと雨が降り続く「菜種梅雨」がありますが、この日は朝の天気予報で警報級の「春の嵐」になるところもあると伝えられていました。案の定、常連のメンバーからは欠席のメールが届き、結局、現地で待っても誰も現れず、一人で雨の中、いつものコースを回ってきました。(参加者1人は初めて)

予定していたテーマは、春先の短い間だけ見られる「春の妖精(スプリング・エフェメラル)」と呼ばれる虫や花を探すことでした。ここで見られるものは蝶でツマキチョウ、植物でムラサキケマンとヒメウスです。

前日の下見は好天に恵まれ、タンポポの花が咲く広場でたくさんのツマキチョウが舞っていましたが、雨天ではそんな光景は期待できません。

ムラサキケマンとヒメウスは雨の中でひっそりと咲いていました。

また、もくもくパラダイスの中ではキイチゴ属のクサイチゴ(和名にクサとついていてもキイチゴの仲間)とニガイチゴが白い花を咲かせていました。

今年は第2日曜が13日と遅いこともあってか、ハナノキ、ハクモクレンやトサミズキなどの花は既に散り、ソメイヨシノ、コブシ、アメリカザイフリボク、シナレンギョウなどの花も終わりかけで、今日の雨が花を散らす雨になるかもしれません。折しも、駐車場周りのクロガネモチは落葉が始まり、クスノキは一足早く若葉に代わっており、新緑の季節の到来が感じられます。

野鳥はそろそろ繁殖の時期で、大野極楽寺公園ではオオタカとトビが営巣を始めたということで、両種ともその付近で鳴声が聞かれました。オオタカは去年の営巣場所から30m程離れた樹に巣があるということですが、竹が密生していて、巣も親鳥の姿も見ることができませんでした。138タワーの近くのトウカエデの樹ではエナガが、休憩所の軒下ではツバメが営巣していました。

一方、冬鳥のツグミは川原の芝生上で数羽の姿を見ることができましたが、南派川にはカモ類の姿はありませんでした。もうしばらくすればセンダイムシクイやキビタキといった夏鳥の姿が見られることでしょう。

(報告: 齋竹)

### <その他観察できたもの>

花: ニホンタンポポ、ハルジオン、オオイヌノフグリ、オオカワヂシャ、クサイチゴ、ニガイチゴ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、アオキ、ベニバナトキワマンサク、ミヤマウグイスカグラ、アケビ

鳥: スズメ、カワラヒワ、キジバト、メジロ、ヒヨドリ、シジュウカラ、アオサギ、ダイサギ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ウグイス(声)

その他: アマガエル



(天気がよかったら花を眺めながらの観察会・・・)



春の妖精: ムラサキケマン

春の妖精: ヒメウス

今が盛り of クサイチゴの花

枝の分岐点にあるエナガの巣

(※これらの画像は前日の下見で撮ったものです。)